

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社スクウェア・エニックス

御名前 三宅 陽一郎 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、すべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 万博開催だけでなく、その前後を通じた、盛り上がりを作って欲しい。
- インターネット以後の万博として、デジタル空間における万博の同時開催。
- 大阪に来なくても、万博を体験できるVRの準備。
- 万博を契機とした関西の学術ネットワークの連携。
- 万博終了後も、継続的に社会に影響を与えられること。
- 子供が自然に科学、芸術に触れられる恒常的な施設の構築。
- 世界に未来のビジョンを提示する。
- 大阪のルーツを理解し、世界に対してどのようなメッセージを投げるかを考えること。
- 東京や地方でもサテライト会場があって参加した感覚がさまざまな場所で味わえるように。
- スマートシティ構想の実現例としての展示。
- これまでの技術・文化を総括し、次の技術・文化の姿を提示する万博であって欲しい。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- テクノロジー、自然、人が融合した生活空間。
- 大阪が誇るライフサイエンスの取り組み。医療の充実。
- 特に、人工知能が埋め込まれた「場」の創出。
- 日本第二位のデジタルゲーム産業の集中区域らしい、エンターテインメント。
- 大阪を舞台とした携帯位置ゲーム。
- 会場全体をゲーム空間とした位置ゲーム。
- ARを使ったバーチャルな空間としての会場。
- 万博を作って行く工程の可視化。建築の可視化。
- 未来の建築。情報科学と融合した建築。
- 人工知能の研究が集中する「けいはんな」の地域のロボット・人工知能技術。
- 立地が海上ということもあり、海上都市にちなんだベネチアや他の海上都市と連携したコンテンツ。
- 地震・津波など日本が受けて来た災害と、それに対する研究などの展示。
- IoTデバイスなどによって、さまざまな計測がリアルタイムになされている、などの展示。
- 定点カメラで会場が出来上がっていく姿を見たい。
- 大阪がどのように世界とつながっているか、物・コト・情報の流れが可視化される。
- YouTube, Instagram など、多様なメディアでコンテンツを展開して欲しい。
- 各国の言語がリアルタイムに他の言語に翻訳される仕組み。
- 障害のある方でも楽しめる多様なコンテンツ。
- 体験型のコンテンツがあると良い。

- 代替現実ゲーム＝会場の中をストーリー仕立てで見せて行く。
  - 巨大な脱出ゲーム。
- 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。**  
(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)
- 整理券の準備。ディズニーランドに似たシステム。
  - 行列を作るにしても、行列中に見て楽しめるスクリーンなどを設置。
  - インターネットによる予約と確認。
  - .
- 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。**

以上